

Cisco Nexus Dashboard Insights ソフト
ウェア管理、リリース 6.5.1 - Cisco
NDFC またはスタンドアロン NX-OS

目次

新規情報および変更情報	2
ソフトウェア管理	3
ソフトウェア管理	3
ソフトウェア管理ジョブの表示	3
ソフトウェア管理の作成	4
アクティブ バグと影響を受けやすいバグの表示	6
NDFC の事前検証基準	6
著作権	9

初版：2024 年 7 月 16 日

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706

USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387)

Fax : 408 527-0883

新規情報および変更情報

次の表は、最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

Cisco Nexus Dashboard Insightsの新機能と変更された動作

特長	説明	リリース	参照先
技術変更	「サイト」という言葉は「ファブリック」に変更されました。	6.5.1	ドキュメント全体

このドキュメントは、Nexus Dashboard Insights の GUI およびオンラインで www.cisco.com で入手できます。本書の最新バージョンに関しては、「[Cisco Nexus Dashboard Insights](#)」の「[Documentation](#)」を参照してください。

ソフトウェア管理

ソフトウェア管理

アップグレードを実行する前に、複数の検証を実行する必要があります。同様に、アップグレードプロセス後、複数のチェックを実行すると、アップグレード手順の変更と成功を判断するのに役立ちます。

ソフトウェア管理機能は、推奨されるソフトウェアバージョンへのアップグレードパスを提案し、アップグレードの潜在的な影響を判断します。また、アップグレード前後の検証チェックにも役立ちます。

ソフトウェア管理機能には次のようなメリットがあります。

- ・ ネットワークの正常なアップグレードの準備と検証を支援します。
- ・ アップグレード前のチェックに関する可視性を提供します。
- ・ アップグレード後のチェックとアップグレード後のステータスに関する可視性を提供します。
- ・ 実稼働環境への影響を最小限に抑えます。
- ・ アップグレードプロセスが単一のステップであるか複数のステップであるかを可視化します。
- ・ 特定のファームウェアバージョンに該当するバグを表示します。

通常、特定の長期リリースに対応した最新のメンテナンス リリースとパッチにアップグレードすることをお勧めします。そのリリース後に導入された機能が必要な場合、最新のリリースにアップグレードできます。

注意事項と制約事項

アップグレード後の分析を実行する前に、すべてのノードがアップグレード済みであることを確認してください。

ソフトウェア管理ジョブの表示

1. [管理 (Admin)] > [ファブリック ソフトウェア管理 (Fabric Software Management)] に移動します。

Software Management

Software Management Jobs 🕒 Last week 🔄 Refresh New Analysis

Filter

Job Status



Status	Name	Fabric	Node Target Firmware	Devices	Start Time	End Time	
Analysis Failed	test-demo	ndfc129	9.3(12)	ni-dcnm-switch1	Feb 09 2024 09:54:49.457 AM	Feb 09 2024 09:58:33.564 AM	
Analysis Failed	demo1	ndfc129	10.2(6)M	ni-dcnm-switch1	Feb 09 2024 10:09:56.556 AM	Feb 09 2024 10:13:51.061 AM	
Analysis Complete	test-ua-sa	aci130	16.0(4c)	aci-switch-103	Feb 08 2024 11:18:51.663 AM	Feb 08 2024 11:30:30.962 AM	
Analysis Complete	demo	aci130	16.0(4c)	aci-switch-103	Feb 09 2024 10:27:15.766 AM	Feb 09 2024 10:39:17.362 AM	

- [時刻 (Time)] セレクタを使用して、時間範囲を選択します。
 - ソフトウェア管理ページでは、選択された時間範囲に基づきファブリックのジョブ ステータスを表示します。
 - フィルタバーを使用して、ステータス別にジョブをフィルタ処理します。
 - [ジョブ ステータス (Job Status)] 円チャートでは、ステータスとともにジョブ数を表示します。
 - [ジョブ (Jobs)] テーブルでは、ステータス、名前、ファブリック、ノード ターゲット ファームウェア、デバイス、開始時間、終了時間などソフトウェア管理ジョブの情報を表示します。
- 歯車アイコンをクリックして、[ジョブ (Jobs)] テーブルの列を構成します。

ソフトウェア管理の作成

手順

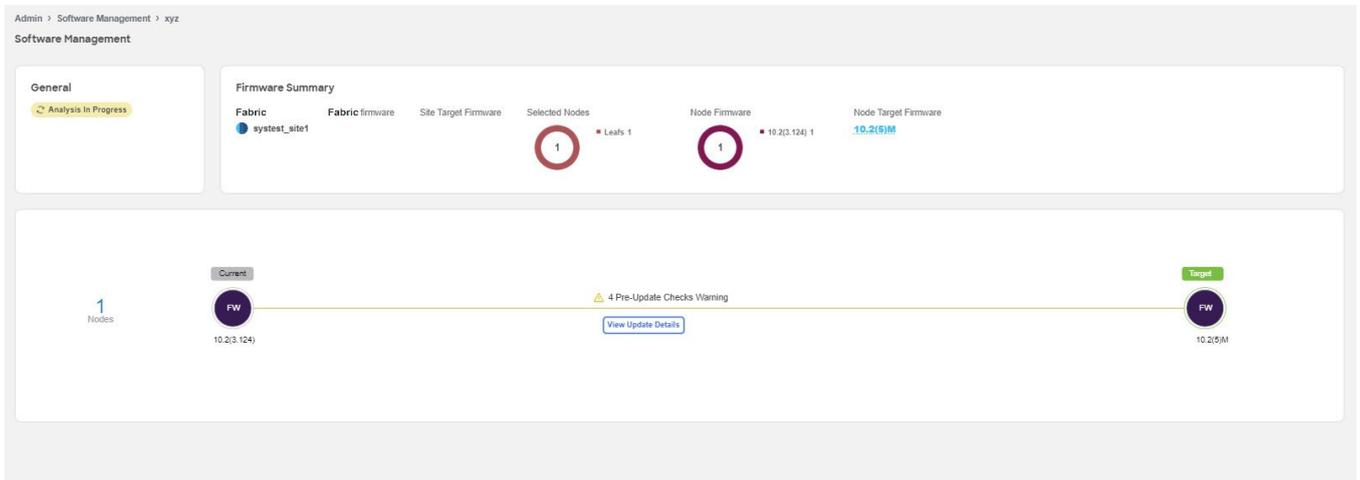
- [管理 (Manage)] > [ファブリック ソフトウェア管理 (Fabric Software Management)] > [新しい分析 (New Analysis)] を選択します。
- 分析名を入力します。
- ファブリックを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
- ファームウェアを選択します。シスコ推奨リリースと最新のファームウェアリリースが表示されます。

この手順をスキップすることもできます。

- [ノードの選択 (Select Nodes)] をクリックします。
 - ノードを選択します。更新が必要なノードのみ表示されます。分析ごとに一度に選択できるノードは10個だけです。
 - [追加 (Add)] をクリックします。
- [ジョブの作成 (Create Job)] をクリックします。ジョブは [ソフトウェア管理 (Software Management)] ダッシュボードに表示されます。
- [更新の詳細を表示 (View Update Details)] をクリックして、ファームウェアまたはノードの更新前の分析と更新後の分析を表示します。

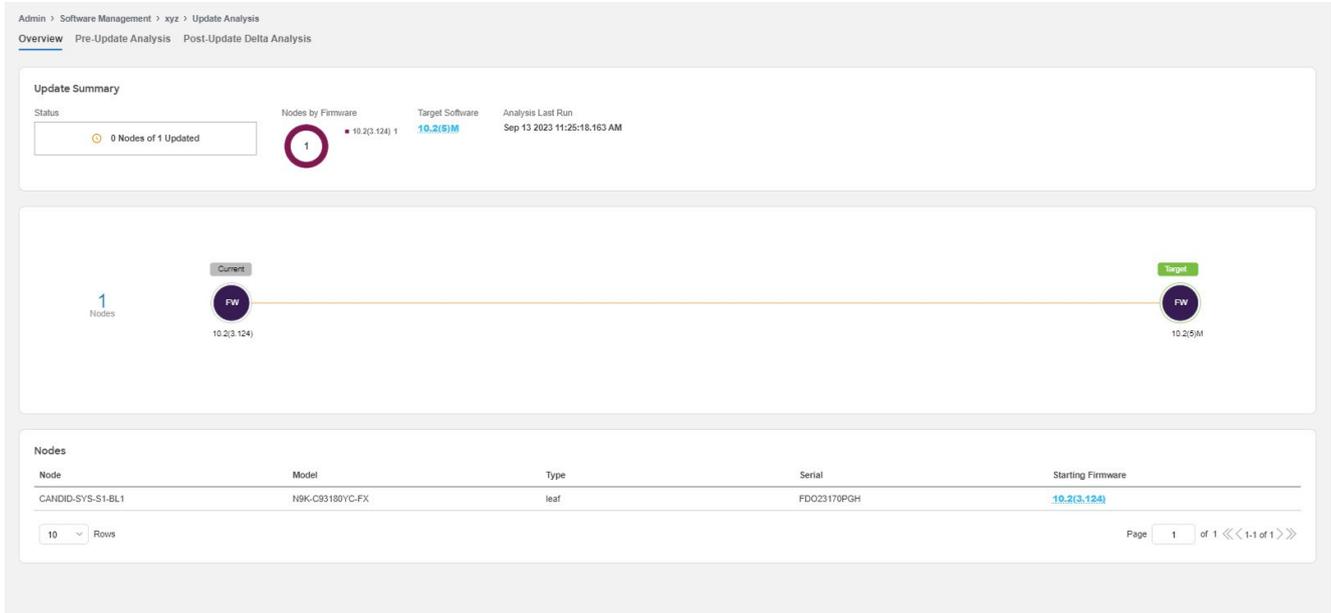
分析の詳細

- ・ [全般 (General)]: ここでは、分析ステータスの場合に表示されます
- ・ [ファームウェアの概要 (Firmware summary)]: ここでは、ファブリック、ファブリック ファームウェア、ファブリック ターゲット ファームウェア、選択されたノード、ノード ファームウェアおよびノード ターゲット ファームウェアが表示されます。
- ・ ファームウェアおよびノードのアップグレード パス。ファームウェアを選択した場合、ファームウェアとノードのアップグレードパスは個別に表示されます。



概要

ここでは、更新の概要、アップグレード パス、ノードのリストが表形式で表示されます。



更新前の分析

ここでは、ノード ステータス、検証結果、影響を受ける可能性のあるオブジェクト、アップグレード後に予測されるクリア アラート、アップグレード後に当てはまる潜在的なリリース障害などの詳細を表示します。ここでは、異常性とアドバイザリの予測も示しています。[検証結果 (Validation Results)] エリアで強調表示されている問題を修正したら、[分析を再実行 (Rerun Analysis)] をクリックします。ドロップダウン ボタンをクリックして、更新前の検証基準と、各基準で検出された問題を表示します。「[NDFC の事前検証基準](#)」を参照してください。



アップグレード前の検証に変更が影響したか確認するため、再度 python スクリプトを実行し、ファイルをアップロードしてから保証分析を再度実行することをお勧めします。

Admin > Software Management > xyz > Update Analysis
Overview **Pre-Update Analysis** Post-Update Delta Analysis Rerun Analysis

Pre-Update Summary

Status: 0 Nodes of 1 Updated

Validation Results: 24 Passed, 4 Failed

POTENTIAL AFFECTED OBJECTS: Applications 0

FORECASTED CLEARED ALERTS: Anomalies 0, Advisories 0

POTENTIAL RELEASE DEFECTS: Bugs 10, PSIRTs 0

Analysis Last Ran: Sep 13 2023 11:25:18.163 AM

Validation Results

- Devices connectivity check: No Issues found
- Module status: No Issues found
- Module exceptions: No Issues found
- Presence of core files: No Issues found
- Dual Supervisor Redundancy: No Issues found
- Port-channel members: One or more port-channel members are not up (CANDID-SYS-S1-BL1)

Anomaly Forecast

Critical	Major	Minor	Warning
0	0	0	0
low	low	low	low
0	0	0	0

Advisory Forecast

Critical	Major	Minor	Warning
0	0	0	0
low	low	low	low
0	0	0	0

Nodes

Node	Model	Type	Serial	Starting Firmware
CANDID-SYS-S1-BL1	NRK-C9180YFC-FX	Leaf	FDQ23170PGH	10.2(3,124)

10 Rows Page 1 of 1

更新後の分析

ここでは、更新後の分析の詳細を表示します。更新後の概要には、アップグレードのステータスが表示されます。

- ・ [正常性の差分 (Health Delta)] をクリックして、アップグレード前とアップグレード後の分析間の異常の違いを表示します。
- ・ [運用の差分 (Operational Delta)] をクリックして、アップグレード前とアップグレード後の分析間の運用リソースの違いを表示します。
- ・ [分析を再実行 (Rerun Analysis)] をクリックします。

アクティブ バグと影響を受けやすいバグの表示



すべてのファブリックでバグ スキャンが有効になっていることを確認してください。

1. [管理 (Admin)] > [ファブリック ソフトウェア管理 (Fabric Software Management)] に移動します。
2. [ソフトウェア管理ジョブ (Software Management Jobs)] テーブルで、分析をクリックします。

[ファームウェアの概要 (Firmware Summary)] エリアで、ノード ターゲット ファームウェアにカーソルを合わせ、[バグの表示 (View Bugs)] をクリックして、そのファブリックのアクティブ バグと影響を受けやすいバグを表示します。「バグスキャン」を参照してください。

3. [アクション (Actions)] ドロップダウン メニューから、[バグ スキャンの実行 (Run Bug Scan)] をクリックして、オンデマンドのバグ スキャンを実行します。

NDFC の事前検証基準

事前検証基準	説明	リリース
デバイスに接続できませんでした	この検証では、すべてのデバイスが接続されているかどうかを確認します。	6.0.1
モジュールが ok/アクティブ/スタンバイ状態かどうかを確認してください	この検証では、すべてのモジュールがオンラインかどうかを確認します。	6.0.1
モジュールで例外ログメッセージが見つかりました	この検証では、ユーザーが開始していないリセットを確認します。	6.0.1
デバイスでコアファイルが見つかりました	この検証では、コアファイルを確認します。	6.0.1
HAスタンバイのないアクティブなスーパーバイザが見つかりました	この検証では、デュアル スーパーバイザ システムの冗長ステータスを確認します。	6.0.1
1つ以上のポートチャネルメンバーが稼働していません	この検証では、すべてのポートチャネルメンバーが稼働状態であるかどうかを確認します。	6.0.1
ユーザーが開始していないシステムリセットが見つかりました	この検証では、システムリセットがユーザーが開始した以外の理由によるものであるかどうかを確認します。	6.0.1
ユーザーが開始していないモジュールリセットが見つかりました	この検証では、モジュールリセットがユーザーが開始した以外の理由によるものかどうかを確認します。	6.0.1
正常な状態ではなく、バックアップ電源のないモジュールが見つかりました	この検証では、すべてのモジュールが正常な状態であり、バックアップ電源が存在するかどうかを確認します。	6.0.1
FAILURE/ABORT/INCOMPLETE/が見つかりました モジュールの ErrorDisabled	この FAILURE/ABORT/INCOMPLETE/ の検証チェックいずれかのモジュールで ErrorDisabled になっています。	6.0.1
検出されたvPCステータスが稼働状態ではありません	この検証では、vPCステータスが稼働状態であるかどうかを確認します。	6.0.1
検出されたvPCスティッキビットがfalseです	この検証では、vPCスティッキビットがfalseであるかどうかを確認します。	6.0.1
検出されたvPCロールがセカンダリではありません	この検証では、vPCロールがセカンダリであるかどうかを確認します。	6.0.1

事前検証基準	説明	リリース
検出されたOSPがFULL FULL/DR状態です	この検証では、OSPFインターフェイスとプロセスの稼働時間の安定性を確認します(12時間)。	6.0.1
検出されたBGPセッションが稼働状態ではありません	この検証では、BGPネイバーの稼働時間の安定性を確認します(12時間)。	6.0.1
検出されたHSRP MGOの状態がアクティブ/スタンバイではありません	この検証では、HSRP MGOの状態がアクティブ/スタンバイであるかどうかを確認します。	6.0.1
検出されたARPが不完全な状態です	この検証では、ARPが不完全な状態にあるかどうかを確認します。	6.0.1
続行するのに十分な空き容量がありません	この検証では、ブートフラッシュの空き領域がしきい値の5GBを超えているかどうかを確認します。	6.0.1
使用率が85%を超えるファイルシステムが見つかりました	この検証では、すべてのファイルシステムの使用率が85%以下であるかどうかを確認します。	6.0.1
検出されたコンソールレジスタビットがRTS、DTR、またはDSRではありません	この検証では、コンソールレジスタビットがRTS、DTR、またはDSRであるかどうかを確認します。	6.0.1
重大度1、2、または3のメッセージが見つかりました	この検証では、重大度1、2、または3のメッセージを確認します。	6.0.1
ISSUの影響チェックが破壊的でした	この検証では、ISSUが破壊的か非破壊的かを確認します。	6.0.1
すべてのスパインが同じアップグレードグループで選択されているか、一部のノードで使用可能な冗長スパインがありません	この検証では、トラフィックの損失を避けるために、スパインノードが少なくとも2つの個別のグループでアップグレードされているかどうかを確認します。	6.0.2
エンドポイントネットワークの冗長性	この検証では、ノードの再起動中のトラフィック損失を回避するために、ノードに非冗長接続エンドポイントがあるかどうかを確認します。	6.0.2

著作権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『INFORMATION PACKET』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

Cisco および Cisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.